

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人  
理事長 栗原 俊

東京慈恵会医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	147人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	603人	148人	622.5人	看護業務補助	29人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	9人	0人	9.0人	理学療法士	13人	臨床検査技師	99人
薬剤師	66人	0人	66.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	14人	その他	0人
助産師	20人	2人	21.2人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	968人	7人	972.0人	臨床工学技士	18人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄養士	25人	その他の技術員	99人
歯科衛生士	3人	0人	3.0人	歯科技工士	0人	事務職員	197人
管理栄養士	16人	6人	20.1人	診療放射線技師	65人	その他の職員	3人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	886.4人	0.9人	887.3人
1日当たり平均外来患者数	2,875.3人	55.5人	2,930.8人
1日当たり平均調剤数	入院 929剤、 外来 634剤、 合計 1,563剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## (様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、眼瞼癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼瞼天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のあるもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	48人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHf)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	166人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	100人
・多発性硬化症	149人	・ウェゲナー肉芽腫症	51人
・重症筋無力症	302人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	57人
・全身性エリテマトーデス	572人	・多系統萎縮症	0人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	136人	・膿疱性乾癬	16人
・サルコイドーシス	201人	・広範脊柱管狭窄症	11人
・筋萎縮性側索硬化症	24人	・原発性胆汁性肝硬変	444人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	374人	・重症急性膵炎	16人
・特発性血小板減少性紫斑病	246人	・特発性大腿骨頭壊死症	67人
・結節性動脈周囲炎	30人	・混合性結合組織病	92人
・潰瘍性大腸炎	466人	・原発性免疫不全症候群	8人
・大動脈炎症候群	0人	・特発性間質性肺炎	9人
・ビュルガー病	113人	・網膜色素変性症	277人
・天疱瘡	65人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	80人	・原発性肺高血圧症	8人
・クローン病	109人	・神経線維腫症	279人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	11人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	25人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	345人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	45人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	123人
・後縦靭帯骨化症	135人	・副腎白質ジストロフィー	4人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。</li> <li>② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</li> </ol>		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年間57回		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	63 例	剖検率 13.4 %

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## I 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	新しい診断機器の検診への応用とこれらを用いた診断精度向上に関する研究	田尻 久雄	消化器・肝臓内科	100万円	補・委 厚生労働省科学研究費
2	膵臓癌に対する改良型融合細胞と化学療法併用による新規治療法の開発	田尻 久雄	消化器・肝臓内科	200万円	補・委 日本私立学校振興・共済事業団
3	運動神経細胞の選択的脆弱性に関する分子細胞機構の解明	河野 優	神経内科	100万円	補・委 文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B)
4	腎疾患における低酸素応答機構の解析と血管再生医療の応用について	宇都宮保典	腎臓・高血圧内科	117万円	補・委 文部科学省科研費、基盤研究 (C)
5	BMPの糸球体発生および糸球体障害における役割	宮崎陽一	腎臓・高血圧内科	143万円	補・委 文部科学省科研費、基盤研究 (C)
6	異種胎児を用いた自己間葉系幹細胞由来クローン腎臓作成法の開発	横尾 隆	腎臓・高血圧内科	130万円	補・委 文部科学省科研費、基盤研究 (C)
7	CD26に基づく難治性糸球体腎炎の治療応用への基礎的研究	小林政司	腎臓・高血圧内科	208万円	補・委 文部科学省科研費、若手研究 (B)
8	破骨細胞阻害因子ノックアウトマウスのリン調節の解明	大城戸一郎	腎臓・高血圧内科	91万円	補・委 文部科学省科研費、若手研究 (B)
9	IgA腎症をはじめとする糸球体腎炎の発症の進展におけるLIGHTの役割の解明	上田裕之	腎臓・高血圧内科	117万円	補・委 文部科学省科研費、若手研究 (B)
10	核内レセプターの新規機能解析と構造情報に基づいた線維化疾患治療法の開発	横山啓太郎	腎臓・高血圧内科	1000万円	補・委 文部科学省ターゲットタンパク研究
11	循環器系シグナルーム解析による疾患・病態解明のための基盤研究	吉村 道博	循環器内科	200万円	補・委 厚生労働省科循環器病研究委託事業
12	動脈硬化性疾患の危険因子の性差と予防に関するコホート研究	吉村 道博	循環器内科	100万円	補・委 厚生労働省循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業



No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
13	循環器疾患におけるアルドステロンの病態生理学的研究	吉村 道博	循環器内科	182万円	補・委 文部科学省科研費、基盤研究C
14	心筋におけるプロテインキナーゼCとカルモデュリン依存性キナーゼのカップリング	小武海公明	循環器内科	65万円	補・委 文部科学省科研費、基盤研究C
15	アンジオテンシンⅡにより惹起される不整脈源性心房内炎症とその分子生物学的機序の解明	伊達太郎	循環器内科	200万円	補・委 武田科学振興財団一般研究奨励
16	高齢者における生体防御の予防法と免疫老化レベルの標準化に関する研究	中山 勝敏	呼吸器内科	85万円	補・委 厚生労働省長寿衣料研究委託事業
17	酸化ストレス制御による高齢者呼吸器疾患の新たな治療法の確立	中山 勝敏	呼吸器内科	234万円	補・委 独立行政法人日本学術振興会19年度科学研究費補助金
18	肺損傷と再生における末梢気道の役割とナノテクノロジーを用いた治療法の研究	桑野 和善	呼吸器内科	580万円	補・委 独立行政法人日本学術振興会19年度科学研究費補助金
19	TGF-βによる肺上皮細胞老化とその影響	桑野 和善	呼吸器内科	40万円	補・委 厚生労働省特定疾患対策研究事業びまん性肺疾患研究班
20	総合診療・プライマリケア領域におけるうつ病性障害と健康関連QOLとの関連	松島 雅人	総合診療部	52万円	補・委 文部科学省科学研究費(基盤研究(C))
21	ラミニンプロモーター遺伝子の心筋症、腎硬化症、糖尿病病態発症に関する研究	鈴木 英明	総合診療部	60万円	補・委 文部科学省科学研究費(基盤研究(C))
22	小児気管支喘息重症発作に対するイソプロテレノール持続吸入療法の検討(サルブタモール持続吸入療法を対照とした多施設共同盲検ランダム化比較試験)	勝沼俊雄	小児科	直接経費 43,124,000円 間接経費 12,937,000円	補・委 厚生労働省科学研究費補助金医療技術実用化総合研究事業
23	休職に至る就労者を取り巻く環境と就労者の特性について	中村 晃士	精神神経科	80万円	補・委 文部省科学省科研費、若手研究B
24	認知症の長期予後に関する疫学的研究	角 徳文	精神神経科	50万円	補・委 文部科学省科研費、基盤研究C

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
25	睡眠医療における医療機関連携のガイドラインの有効性検証に関する研究	伊藤洋	精神神経科	60万円	補・委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
26	薬物依存の形成・維持・再発の脳内神経学的機序と新規治療の開発に関する研究	宮田久嗣	精神神経科	70万円	補・委 平成20年度文部科学省科学研究費補助金
27	ニコチン依存の形成と維持における環境刺激の関与についての研究—学習・記憶の脳内機構の観点から—	宮田久嗣	精神神経科	200万円	補・委 (財)喫煙科学研究財団研究助成金
28	精神科医療における発達精神医学的支援に関する研究	小野和哉	精神神経科	90万円	補・委 厚生労働省委託費研究 国立精神神経センター
29	てんかんの合併障害に対する治療の標準化に関する研究	須江洋成	中央検査部	70万円	補・委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
30	レンチウイルスベクターシステムによるクラッペ病遺伝子治療	小林 博司	小児科	直接経費 1,700,000円 間接経費 510,000円	補・委 科学研究費補助金 基盤研究C
31	マウスを用いた右心不全の機能解析とその特異性を加味した治療法の確立	浦島 崇	小児科	直接経費 1,000,000円 間接経費 300,000円	補・委 科学研究費補助金 若手研究B
32	小児救急のあり方に関する研究	衛藤義勝	遺伝病(ライソゾーム病)研究講座(総合診療部)	直接経費 700万円 間接経費 0円	補・委 厚生労働省科学研究費補助金 医療安全・評価総合研究事業
33	ライソゾーム病(ファブリ病含む)に関する調査研究	衛藤義勝	遺伝病(ライソゾーム病)研究講座(総合診療部)	直接経費 3,500万円 間接経費 0円	補・委 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業
34	ライソゾーム病の酵素補充療法における酵素製剤に対する免疫寛容誘導法の開発	衛藤義勝	遺伝病(ライソゾーム病)研究講座(総合診療部)	直接経費 170万円 間接経費 51万円	補・委 科学研究費補助金 基礎研究C
35	神経皮膚症候群に関する調査研究	中川 秀己	皮膚科	100万円	補・委 厚生労働省科学研究費補助金
36	性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究	本田 まりこ	皮膚科	100万円	補・委 厚生労働省科学研究費補助金

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
37	ユビキタス・インターネットを活用したアレルギー疾患の自己管理および生活環境改善支援システム、遠隔教育システム、患者登録・長期観察システムに関する研究	中川 秀己	皮膚科	160万円	厚生労働科学研究費補助金
38	神経線維腫症1の各腫瘍における原因遺伝子とマーカー遺伝子の同定	延山 嘉真	皮膚科	182万円	文部科学省 科学研究費補助金 若手研究(B)
39	水痘带状疱疹ウイルス次世代ワクチン開発の基礎研究	伊東 秀記	皮膚科	208万円	文部科学省 科学研究費補助金 若手研究(B)
40	慢性肝不全治療のための埋め込み型人工肝臓の開発および腎臓の肝臓化	矢永 勝彦	外科	290万円	文部科学省 科学研究費(基盤研究(B))
41	ヒト分離培養胆道上皮細胞を用いた人工胆道モデルの作成と胆管損傷修復機序の解明	石田 祐一	外科	80万円	文部科学省 科学研究費(基盤研究(C))
42	新たなbFGFアガロース徐放剤を用いた人工血管治癒促進・吻合部狭窄予防の基礎研究	石田 厚	外科	180万円	文部科学省 科学研究費(基盤研究(C))
43	ジエチルニトロソアミン誘発ラット肝発癌モデルにおけるT-614の効果	坂本 太郎	外科	130万円	文部科学省 科学研究費(若手研究(B))
44	低出力超音波刺激を用いた再建靭帯成熟過程の促進	丸毛 啓史	整形外科	195万円	文部科学省 科学研究費 基盤研究(C)
45	新たな骨粗鬆症モデル(骨血管相関モデル)の確立	斎藤 充	整形外科	182万円	文部科学省 科学研究費 基盤研究(C)
46	高齢者の腰痛に及ぼす脊柱変性、生活習慣要因および生活習慣病の影響と相互作用の解明	斎藤 充	整形外科	60万円	厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業
47	脳腫瘍に対する温度可逆性ポリマーを用いたドラッグデリバリーシステムの開発	常喜達裕	脳神経外科	130万円	文科省科学研究費
48	発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	大井静雄	脳神経外科	650万円	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費
49	硬組織再建一超小型自動骨延長器の開発とその最適な延長環境の検証一	酒井 新介	形成外科	50万円	文部科学省 科学研究費 若手研究(A)

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
50	遺伝子解析による四肢先天異常・頭蓋骨早期癒合症の解明	田中 誠児	形成外科	90万円	補・委 文部科学省科学研究費 若手研究 (B)
51	発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	田中 忠夫	産婦人科	70万円	補・委 厚生労働省 精神・神経疾患研究委託事業
52	不育症治療に関する再評価と新たな治療法の開発に関する研究	田中 忠夫	産婦人科	85万円	補・委 厚生労働科学研究費補助金
53	抗リン脂質抗体による子宮内胎児発育遅延の病態解明と治療法の検討	田中 忠夫	産婦人科	200万円	補・委 東京産婦人科医会 おぎゃ一献金基金
54	進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	落合和徳	産婦人科	110万円	補・委 厚生労働省
55	ホルモン抵抗性前立腺癌に対する遺伝子治療の開発	清田 浩	泌尿器科	170万円	補・委 文部科学省研究補助金 基盤研究C
56	SNDIの前立腺癌における生物学的意義の解明と治療への応用	木村高弘	泌尿器科	170万円	補・委 文部科学省研究補助金 若手研究 (B)
57	前立腺癌における癌幹細胞同定と解明	三木 淳	泌尿器科	170万円	補・委 文部科学省研究補助金 若手研究 (B)
58	新規膀胱癌マーカー蛋白質プリペラキンの尿細胞診への応用と膀胱癌における機能解析	佐々木 裕	泌尿器科	170万円	補・委 文部科学省研究補助金 若手研究 (B)
59	前立腺癌の広範囲プロテオミクス解析による新規血清マーカーの探索	鎌田裕子	泌尿器科	100万円	補・委 文部科学省研究補助金 若手研究 (B)
60	遺伝的背景の探索による前立腺癌の原因遺伝子探求と発癌機構の究明	山田裕紀	泌尿器科	50万円	補・委 財団法人鈴木医学振興財団 研究助成金
61	前立腺癌における癌幹細胞同定と解明	三木 淳	泌尿器科	50万円	補・委 前立腺研究財団研究助成
62	早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立	颯川 晋	泌尿器科	30万円	補・委 厚生労働科学研究費助成金「がん臨床研究事業」

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
63	ヒトの視覚野における高空間分解機能的磁気共鳴イメージング (fMRI) の研究	吉田正樹	眼科	100万円	補・委 独立行政法人日本学術振興会平成20年度科学研究費補助金
64	網膜ジストロフィにおける遺伝子異常と疾患表現型の相関研究	林 孝彰	眼科	143万円	補・委 文部科学省科研費、基盤研究C
65	輝度情報処理のダイナミズムと羞明のメカニズムの解明	堀口浩史	大学院医学研究科・神経感覚機能病態治療学・眼科学	60万円	補・委 文部科学省・科学研究費補助金(特別研究員奨励費)
66	人工中耳粘膜移植とドラッグデリバリーシステムの融合による新しい鼓室形成術式の研究	小島 博己	耳鼻咽喉科	80万円	補・委 科学研究費補助金
67	弛緩部型中耳真珠腫の発症・進展機序の解明と予防・治療に関する研究	森山 寛	耳鼻咽喉科	120万円	補・委 科学研究費補助金
68	立体内視鏡とステレオナビゲーションの重畳表示画像を用いた鼻副鼻腔術式の研究	鴻 信義	耳鼻咽喉科	100万円	補・委 科学研究費補助金
69	組織再生工学を用いた人工鼓膜の作成と中耳真珠腫の病態解明	田中 康広	耳鼻咽喉科	110万円	補・委 科学研究費補助金
70	コンピュータ解析に基づく慢性副鼻腔炎に対する新しい治療戦略の開発	吉川 護	耳鼻咽喉科	140万円	補・委 科学研究費補助金
71	真菌による好酸球性副鼻腔炎の発症とその病態解明に関する研究	松脇 由典	耳鼻咽喉科	30万円	補・委 科学研究費補助金
72	培養細胞シートを用いた中耳粘膜再生の試み 移植用シートの開発とその臨床応用	山本 和央	耳鼻咽喉科	70万円	補・委 科学研究費補助金
73	好三矯正副鼻腔炎の病態解明 制御性T細胞とIL-17産生性T細胞の関与について	浅香 大也	耳鼻咽喉科	100万円	補・委 科学研究費補助金
74	fMRI, NRISの結果から考える経頭蓋磁気刺激による失語症改善促進の研究	安保雅博	リハビリテーション科	1,014万円	補・委 文部科学省 基盤研究(B)
75	座位姿勢での耐圧分散と歩行能力の関係について	辰濃 尚	リハビリテーション科	286万円	補・委 文部科学省 若手(B)

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
76	顎関節の痛みに対する消炎鎮痛効果判定基準に関する感度検証	杉崎正志	歯科	5万円	補・委 日本歯科医学会
77	「新たなマウス肺高血圧モデルの作成とRNA干渉を利用した治療法の開発」	上園 晶一	麻酔部	60万円	補・委 文部科学省 科学研究費 基盤研究 (C)
78	「吸入麻酔薬による興奮の分子機構の解明」	安井 豊	麻酔部	180万円	補・委 文部科学省 科学研究費 若手研究 (B)
79	がんの診断治療用光学機器の開発	貝瀬 満	内視鏡科	180万円	補・委 厚生労働省がん研究助成金
80	拡大内視鏡による消化器がんの早期診断法の確立に関する研究	加藤智弘 郷田憲一	内視鏡科	100万円	補・委 厚生労働省がん研究助成金
81	超拡大内視鏡による消化管神経叢の生体内観察	炭山和毅	内視鏡科	100万円	補・委 東京慈恵会医科大学 (研究奨励費)
82	副作用報告システム構築に関する研究	星 順隆	輸血部	85万円	補・委 厚生労働科学研究費補助金
83	ヘモビジランスのための病院内輸血副作用監視体制に関する研究	田崎 哲典	輸血部	100万円	補・委 厚生労働科学研究費補助金

合計 83 件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

No	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Clin Exp Immunol 2009;156:344-52	Antigenic stimulation with cytochrome P450 2J expressed in mouse hepatocellular carcinoma cells regulates host antitumor immunity.	Homma S, Koido S, Takahara A, Tajiri H, et al.	消化器・肝臓内科
2	Immunotherapy 2009;1:49-62	Cancer immunotherapy by fusions of dendritic cells and tumor cells.	Koido S, Hara E, Homma S, Ohkusa T, Gong J, Tajiri H.	消化器・肝臓内科
3	J Transl Med 2008;6:51	In vitro generation of cytotoxic and regulatory T cells by fusions of human dendritic cells and hepatocellular carcinoma cells.	Koido S, Homma S, Takahara A, Tajiri H, et al.	消化器・肝臓内科
4	Arch Immunol Ther Exp 2007;55:281-7	Dendritic/tumor fusion cell-based vaccination against cancer.	Koido S, Hara E, Homma S, Fujise K, Gong J, Tajiri H.	消化器・肝臓内科
5	J Immunol. 2007;179:4874-83	Synergistic induction of antigen-specific CTL by fusions of TLR-stimulated dendritic cells and heat-stressed tumor cells.	Koido S, Hara E, Homma S, Takahara A, Tajiri H, et al.	消化器・肝臓内科
6	JMAJ 2008; 51:199-203	Recent Advances in Electronic Endoscopes: Image-enhanced endoscopy.	Tajiri H, Niwa H.	消化器・肝臓内科
7	J Neurol Sci 2008; 264:195-7.	Pramipexole induced antecollis in Parkinson's disease.	Suzuki M, Hirai T, Ito Y, Sakamoto T, Oka H, Kurita A, Inoue K.	神経内科
8	J Neuropathol Exp Neurol 2008; 67:1072-83.	Incidence and extent of Lewy body-related alpha-synucleinopathy in aging human olfactory bulb.	Sengoku R, Saito Y, Ikemura M, Hatsuta H, Sakiyama Y, Kanemaru K, Arai T, Sawabe M, Tanaka N, Mochizuki H, Inoue K, Murayama S.	神経内科
9	Muscle Nerve 2009;39: 101-5.	Immune-mediated myositis in Crohn's disease.	Shimoyama T, Tamura Y, Sakamoto T, Inoue K.	神経内科
10	神経内科2008;68(4):389-92.	パーキンソン病の嗅覚障害;線香を用いた簡便法.	持尾聰一郎, 豊田千純子, 磯部建夫, 岡尚省, 佐藤浩則.	神経内科
11	Clin Nephrol 2008; 70: 306-11.	Osteoprotegerin affects the responsiveness of FGF-23 to high oral phosphate intake.	Kagami S	腎臓・高血圧内科
12	Clin Transplant 2008; 22(Suppl 19): 68-71.	Effects of anti-hypertensive treatment on graft function and proteinuria in a kidney transplant from an elderly hypertensive donor.	Kobayashi A	腎臓・高血圧内科

No	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
13	Pathol Int 2008; 58: 295-9.	Clinical Research Center, Chiba-East National Hospital. Galactosialidosis associated with IgA nephropathy: morphological study of renal biopsy.	Koike K	腎臓・高血圧内科
14	Kidney Int 2008; 73: 826-34.	T-type calcium channel blockade as a therapeutic strategy against renal injury in rats with subtotal nephrectomy.	Sugano N	腎臓・高血圧内科
15	Nephrol Dial Transplant 2009; 24: 690-1.	Regression of parathyroid gland swelling by treatment with cinacalcet.	Terawaki H	腎臓・高血圧内科
16	Hypertens Res 2008; 31: 2129-35.	Masked hypertension determined by self-measured blood pressure at home and chronic kidney disease in Japanese general population: The Ohasama study.	Terawaki H	腎臓・高血圧内科
17	Biochem J 2008; 413: 193-200.	The tyrosine phosphatase CD148 interacts with the p85 regulatory subunit of phosphoinositide 3-kinase.	Tsuboi N	腎臓・高血圧内科
18	Nephrol Dial Transplant 2009; 24: 892-9.	Changes in the glomerular density and size in serial renal biopsies during the progression of IgA nephropathy.	Tsuboi N	腎臓・高血圧内科
19	Perit Dial Int 2008; 28 (Suppl 3): S128-30.	Differences in corrective mode for divalent ions and parathyroid hormone between standard- and low-calcium dialysate in patients on continuous ambulatory peritoneal dialysis--result of a nationwide survey in Japan.	Yamamoto H	腎臓・高血圧内科
20	Transplantation 2008; 85: 1654-8.	Generation of transplantable erythropoietin-producer derived from human mesenchymal stem cells.	Yokoo T	腎臓・高血圧内科
21	関東リウマチ2008;41:34-40	間質性膀胱炎を発症したSLE, シェーグレン症候群の一例	高橋英吾, 平井健一郎, 吉田健, 金月勇, 黒坂大太郎	リウマチ・膠原病内科
22	Mod Rheumatol 2009; 19(2): 187-91	Correlation between synovial blood flow signals and serum vascular endothelial growth factor levels in patients with refractory rheumatoid arthritis refractory rheumatoid arthritis.	Kurosaka D, Hirai K, Nishioka M, Miyamoto Y, Yoshida K, Takahashi E, Ukichi T, Noda K, Yanagimachi M, Furuya K.	リウマチ・膠原病内科
23	Am J Respir Crit Care Med.	Hypoxemia in inferior pulmonary veins in supine position is dependent on obesity.	Yamane T	循環器内科



No	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
24	J. Biol. Chem.	Interaction of Scaffolding Adaptor Protein Gab1 with Tyrosin Phosphatase SHP2 Negatively Regulates IGF-I-dependent Myogenic Differentiation via the ERK1/2 Signaling Pathway	Koyama T,	循環器内科
25	Circ J	High incidence of repeat anginal attacks despite treatment with calcium-channel blockers in patients with coronary spastic angina.	Ogawa T	循環器内科
26	Curr Pharm Des	Cardiac metabolism in diabetes mellitus	Yoshimura M	循環器内科
27	Immun., Endoc. & Metab. Agents in Med. Chem.	Role of statins on the prevention of coronary spasm.	Yoshimura M	循環器内科
28	Circ J	Angiographic and Clinical Outcomes after Sirolimus-Eluting Stents Implantation to De novo Ostial Lesion of Right Coronary Artery. - A Retrospective Study -	Sakamoto H	循環器内科
29	J Cardiovasc Electrophysiol	Maintenance of atrial fibrillation by pulmonary vein tachycardia with ostial conduction block: evidence of an interpulmonary vein electrical connection.	Matsuo S	循環器内科
30	Pacing Clin Electrophysiol	The dormant epicardial reconnection of pulmonary vein: an unusual cause of recurrent atrial fibrillation after pulmonary vein isolation.	Matsuo S	循環器内科
31	Circ J	Prevalence, morphological and electrophysiological characteristics of confluent inferior pulmonary veins in patients with atrial fibrillation.	Yamane T	循環器内科
32	Circ J	Inhibition of the renin-angiotensin system prevents re-hospitalization of heart failure patients with preserved ejection fraction.	Komukai K	循環器内科
33	癌と化学療法 2008;35 Suppl. I :22-24	硬膜外皮下ポートによる在宅疼痛コントロールの検討	目澤秀俊, 井上大輔, 永崎栄次郎, 小林直, 柵山年和, 相羽恵介	腫瘍・血液内科
34	癌と化学療法 2008;35 Suppl. I :10-12	膵臓癌IVb期で在宅ケアの継続が困難になった症例	瀬戸愛生, 井上大輔, 柵山年和, 荒川泰弘, 市場保, 相羽恵介	腫瘍・血液内科
35	Gan To Kagaku Ryoho. 2009 Mar;36 (3) :453-60.	Importance of the primary physician for pain management in patients with recurrent advanced cancer--a questionnaire survey]	Konishi T, Sasaki T, Aiba K, Fukutomi T, Kakegawa K, Okubo T.	腫瘍・血液内科

No	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
36	Int J Clin Oncol. 2008 Dec;13(6):545-51.	Successful treatment of advanced gallbladder cancer with an anticancer drug S-1: assessment based on intratumoral gene.	Kitajima K, Kobayashi S, Shiba H, Uwagawa T, Ishida Y, Aiba K, Kawakami M, Yanaga K.	腫瘍・血液内科
37	J Am Geriatr Soc 2009 57: 169-170.	Hichuekikito improves systemic inflammation and nutritional status in obstructive pulmonary disease.	Tatsumi K, Nakayama K, et al.	呼吸器内科
38	J Immunol 2008 180: 6262-9.	Identification of pendrin as a common mediator for mucus production in bronchial asthma and chronic obstructive pulmonary disease.	Nakao I, Nakayama K, et al.	呼吸器内科
39	Expert Rev Resp Med 2008 2: 573-582.	Epithelial cell fate following lung injury.	Kuwano K, Nakayama K, et al.	呼吸器内科
40	Pulm Pharmacol Ther 21:401-8, 2008.	The role of collagenases in experimental pulmonary fibrosis.	Ouchi H, Fujita M, Ikegame S, Kuwano K, et al.	呼吸器内科
41	Histochem Cell Biol 129:401-8, 2008.	Dual-immunohistochemistry provides little evidence for epithelial-mesenchymal transition in pulmonary	Yamada M, Kuwano K, Maeyama T, Hamada N, et al.	呼吸器内科
42	Am J Respir Cell Mol Biol. 39:440-7, 2008.	The Role of High Mobility Group box1 in Pulmonary Fibrosis.	Hamada T, Maeyama T, Kuwano K, et al.	呼吸器内科
43	Respirology. 13:639-45, 200	Recombinant Human erythropoietin reduces epithelial cell apoptosis and attenuates bleomycin-induced	Yoshimi M, Maeyama T, Kuwano K, et al.	呼吸器内科
44	World Journal of Gastroenterology 2008; 14: 2044-2048	Serum type IV collagen level is predictive for esophageal varices in patients with severe alcoholic disease.	Mamori S, Searashi Y, Matsushima M, Hashimoto K, Uetake S, Matsudaira H, Ito S, Nakajima H, Tajiri H.	総合診療部
45	睡眠医療 2008; 2(3): 285-9	不眠症の診断・治療・連携ガイドライン	山寺 亘、伊藤洋、井上雄一、神林崇、田ヶ谷浩邦、亀井雄一	精神神経科
46	睡眠医療 2008; 2(3): 296-303	概日リズム睡眠障害の診断・治療・連携ガイドライン	田ヶ谷浩邦、伊藤洋、井上雄一、亀井雄一、内村直尚、古田壽一、山寺 亘、小鳥居望	精神神経科
47	最新医学別冊新しい診断と治療のABC56「睡眠・覚醒障害」 2008; 69-8	不眠症	山寺 亘、伊藤洋	精神神経科
48	月刊地域保健 2008; 9月号: 53-7	不眠症	山寺 亘、伊藤洋	精神神経科
49	日本医師会雑誌 2008; 137(10): 1417-21	不眠症の診断と治療	山寺 亘、伊藤洋	精神神経科

No	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
50	厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「睡眠障害医療における政策医療ネットワーク構築のための医療機関連携のガイドライン作成に関する研究」平成17～19年度総括研究報告書 2008：89-102	不眠症診断・治療・医療連携ガイドライン	山寺 亘、伊藤洋、井上雄一、神林崇、田ヶ谷浩邦、亀井雄一	精神神経科
51	13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting. Program & Abstracts, 2008; 321	The Clinical Investigations of Team Treatment for breathing-related sleep disorders in Jikei university hospital	Yamadera W, Aoki R, Ochiai Y, Harada D, Obata K, Aoki K, Sato M, Obuchi K, Ozone M, Itoh H, Nakayama K	精神神経科
52	J Psychopharmacol 2008; 10 (3) : 1-4.	Effect of distigmine bromide on the central cholinergic system.	Nakayama K, Katsu H, Kitasumi K.	精神神経科
53	Ann NY Acad Sci, 2008; 1139: 458-65.	Psychosocial withdrawal characteristics of nicotine compared with alcohol and caffeine.	Miyata H, Hironaka N (Erato), Takada K. (Teikyo Univ), Miyasato K (Funomori Cli), Nakamura K (Int Univ), Yanagita T.	精神神経科
54	Anticancer Res 2008; 28:2433-2436	Clonazepam for Chemotherapy-induced Nausea and Vomiting (CINV).	Koga M, Nakadozono M, Nukariya K, Nogi H, Kobayashi T, Nakayama K.	精神神経科
55	日本森田療法学会雑誌 2008;19(2):157-68.	森田療法の成立に先立つ「祈禱性精神症(病)」研究の意義。	中山和彦.	精神神経科
56	女性心身医学会雑誌 2009;14(1)27-30.	女性の不安と森田療法.	中山和彦.	精神神経科
57	臨床精神医学 2009;38(3):327-34.	森田療法を生み出した時代とその臨床的背景を探るー森田療法の成立に先立つ「祈禱性精神症(病)」研究の意義ー.	中山和彦、忽滑谷和孝、小野和哉.	精神神経科
58	脳 2009;12(2):1-6.	薬理作用からみた新規抗精神病薬の臨床特性：特に意欲と動機づけの保護作用の観点から.	宮田久嗣.	精神神経科
59	日本神経精神薬理学雑誌 2008;28(4):149-58.	喫煙およびニコチンと精神神経疾患ーニコチン性アセチルコリン受容体の役割についてー.	宮田久嗣.	精神神経科

No	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
60	精神神経学雑誌 2008;110(8):698-705.	ドイツ医学とイギリス医学の対立が生んだ森田療法。-森田理論をその源流から探る-	中山和彦	精神神経科
61	東京精神科病院協会誌 2008;23:30-7.	薬理作用からみた第二世代抗精神病薬の臨床特性と使い分け.	宮田久嗣	精神神経科
62	Dementia and Geriatric Cognitive Disorders 2008; 25: 439-444	Cognitive function and psychiatric symptoms in early-onset frontotemporal dementia and late-onset frontotemporal dementia	Shinagawa S.	精神神経科
63	International Psychogeriatrics 2009; 21(3): 520-525	Characteristics of eating and swallowing problems in patients who have dementia with Lewy bodies	Shinagawa S.	精神神経科
64	老年精神医学雑誌 2008; 19(9): 1009-15	性嗜好異常を主訴とし、その後の経過で進行性核上性麻痺と診断された一例	品川俊一郎、角 徳文、中山和彦	精神神経科
65	Alzheimer's Disease: New Research 2008; 139-151	Association between depression and Alzheimer's disease	Tsuno N.	精神神経科
66	臨床精神医学 2009;37(9):1235-1240	大うつ病性障害を呈したアスペルガー障害の青年期症例	小野和哉	精神神経科
67	Mol Genet Metab. 2008;94(3):313-8.	Reduced alpha-Gal A enzyme activity in Fabry fibroblast cells and Fabry mice tissues induced by serum from antibody positive patients with Fabry disease.	Ohashi T, Iizuka S, Ida H, Eto Y.	遺伝病(ライソゾーム病)研究講座(総合診療部)
68	J Inherit Metab Dis. 2008 Jan 21	Clinical manifestations and natural history of Japanese heterozygous females with Fabry disease.	Kobayashi M, Ohashi T, Sakuma M, Ida H, Eto Y.	遺伝病(ライソゾーム病)研究講座(総合診療部)
69	Acta Paediatr Suppl. 2008 Apr;97(457):5-6.	Lysosomal storage diseases: new challenges	Scarpa M, Eto Y.	遺伝病(ライソゾーム病)研究講座(総合診療部)
70	小児科診療. 診断と治療社 2009(72)1:13-16.	臨床遺伝・分子遺伝学の最近の進歩	衛藤義勝	遺伝病(ライソゾーム病)研究講座(総合診療部)
71	日本プランニングセンター 2008(14)11:48-50.	ポンペ病の診断・治療のガイドラインと患者・家族の抱える問題点、難病と住宅ケア.	衛藤義勝	遺伝病(ライソゾーム病)研究講座(総合診療部)